

平成28年1月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成28年1月25日(月) 午前9時00分 ~午前9時40分

2. 会場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室

3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代

教育委員長職務代理者 野上 美智子

委員 渡辺 義弘

委員 神田 岳委

教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	文化・文化財課長	川野 義明
学校教育課長	小坂 一弘	社会教育振興官	白根 和孝
社会教育課長	矢野 晃	学校給食課長	斎藤 隆生
教育総務課総括課長代理	佐藤 忠久	社会教育課総括課長代理	口石 愛
学校教育課課長代理	斎藤 正雄	教育総務課副主幹	宇都宮 律子

5. 傍聴人 白杵市 木下 裕章

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。

本日の出席委員 5名、欠席委員 0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。今回は1名の傍聴希望者がいます。白杵市の木下さんです。傍聴に関しては、白杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、委員長の許可制ですが、教育委員皆さんとの了解があれば許可するということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

傍聴について許可してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(委員長)

それでは傍聴を希望する1名について傍聴を許可します。

(傍聴者1名入室)

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成28年1月定例会を開催いたします。本日の委員会の会期は本日限りと致します。会議録署名委員に、神田委員、渡辺委員の2名を指名いたします。

7. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

おはようございます。沖縄でもみぞれが降るような寒い日になりましたが、今週末は逆に暖かくなる予報が出ていますので、体調管理に気を付けてください。報告の前に今月2つ良いニュースがありましたので、お知らせしたいと思います。それぞれまた後ほど報告があるかと思います。一つは「第35回全国中学生人権作文コンテスト」で豊洋中のレイス君の作文が、全国100点の作文の中の奨励賞に選ばれたことです。本当にすごいと思いました。もう一つは県のこども読書活動コンクールで、上北小の学校図書館を活用した授業実績について最優秀賞をいただいたそうです。

それでは1月の行事報告表に沿って報告をいたします。まず3日に恒例の山内流寒中水泳大会が行われ、今年で30回目を迎えました。その日は今日と違い、非常に暖かく穏やかな天気でした。右側に書いていますように日本教育公務員弘済会から50万円の助成をいただき、旗や花笠を新調することができまして、その披露をしました。4日は仕事始めで11時から新年互礼会もありました。教育委員会の仕事始め式についてですが、野津は昼に、臼杵は5時15分からこの会議室で行いました。

9日に子育て総合支援センター「ちあポート開所式」がありました。1月4日から仕事が始まっていますが、福祉課の子育て支援室がそのまま移っています。里帰りの親子なども含めて沢山の方に訪れていただいて、ずいぶん賑やかでした。4月からは保険健康課の母子保健の関係も入って、さらに本格的に取り組むようになります。10日の成人式ですが、今年は成人者309人のうち出席者が272人となっております。今回から成人者6人の実行委員によって、構成を考えて企画し実施いたしました。式の最後に各中学校の思い出の写真が写されて、学校ごとに盛り上がってかなり好評だったと思います。非常に良い取り組みだったなど感じました。12日は防災教育モデル実践事業発表会がありました。今年県のモデル事業の指定をいただきまして、臼杵小が低地にあるため、地震津波の防災の取り組みを進めています。これにカトリック臼杵幼稚園と東中が加わって、合同で実践をやっていこうということで、幼稚園、小学校、中学校の取り組みの発表がありました。継続してやって行くことが大事だと思います。東中についてはもっと力を入れて取り組んでもらいたいと感じましたので、学校の方には伝えたいと思います。13日に海洋科学校の新大分丸出港式に参加してきました。本来ならば春と秋の2回で実習に行くのですが、今年は機関士が足りなくて実施できずにこの時期になったということです。2月29日まで専攻科9名、本科16名の25名で、うち女性2名が参加して実習を行います。後から報告がありますが、この海洋科学校については津久見高校の海洋科学校でなく、独立の高等学校としてほしいという要望をします。校舎も臼杵市ですし、今回の出港式も臼杵市の関係者ばかりだったので、そういうことも含めて独立の海洋科学校としていただくよう要望します。もう一つ、平成31年度から香川県の海洋科学校と実習船を共同で運航するということになりました。今回のように機関士がいなくて航行できないという問題等もあるので、香川県の高校と共同運航の話を進めています。14日は総括学校安全衛生委員会ということで、野津中学校で職場環境調査がありました。当日は児玉先生に出席いただきまして、パソコン用の机でなく普通の机を使っているとか、トイレで固形石鹼を使用しているのはウイルス等が移りやすいので、衛生上良くないという指摘をされました。15日に定例校長会があり、3学期は学年の総仕上げのお願いと、この時期学校経営や教育課程等の組み立てに入っていますので、是非小中一体教育の取り組みをその中に盛り込んでいただくようお願いしました。同日、マレガプロジェクト市長会見とあります。これは以前報告をいたしましたが、バチカン図書館にマレガ文書があ

って、その調査が臼杵の文化財管理センターに藩政資料がある関係で行われました。その時に大友先生と平川理事が見えまして、ぜひ臼杵市もマレガプロジェクトの一員として参加してもらえないかと依頼があり、市長と会見しました。世界記憶遺産となる可能性もあるのではないかと夢の多いお話をいただきまして、そういう方向で動くようになるかと思います。20日ですが業務改善提案発表会があり、市役所の各部から業務改善の発表がありました。教育委員会は警備などの委託と電気料金を入札することによって、それぞれ600万円近くの経費削減ができたという内容の発表をして、グランプリをいただくことができました。21日は経営本部会議があり、28年度の組織について検討しました。まだ決定ではないので詳しくは申し上げられないのですが、教育委員会の組織については大きな変更はありません。この日から毎年やっている教育委員会事務局職員ヒアリングを、年度末の異動等ありますので2月にかけて行います。23日は2つの大きな行事がありました。一つ目は市民会館での「福祉と教育を考えるフォーラム」です。発達障がい等の障がいのある子ども達についてということで、教育委員会からは安東指導主事が「特別支援教育の取り組み」についての発表をしました。この日は大分大学の衛藤准教授から「発達障がいのある子どもへの支援」という講演をしていただき、発達障がいをいかにうまく捉えることができるか、先生方の取り組みや、家庭での捉えが大事だというお話をいただきました。もう一つは大分市のコンパルホールで「キリストン・南蛮文化遺産シンポジウム」がありました。これは日本遺産の登録に向けて、キリストン南蛮文化協定協議会の国東・日出・大分・由布・津久見・竹田・臼杵の7市町首長によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの取り組み等についてお話しし、最後は日本遺産の登録に向けて28年度から取り組んで、29年度の登録に向けて活動しようという宣言をいたしました。本日25日から教職員の人事異動校長ヒアリングを行います。今年度・来年度と管理職の退職者も多いので、そういったことも含め人事異動は大変だと感じています。今後のことですが、28日に第3回読書のまちづくりプラン策定委員会、キリストン遺跡調査指導委員会等あります。先ほど触れませんでしたが今日の新聞にキリストン遺跡について国東市が専門家に指摘を受けていましたが、日本遺産の登録に向けて問題になるかもしれません。臼杵市としては調査委員会で下藤の遺跡について進めて行きたいと思います。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願ひします。

(無しの声あり)

8. 協議事項

(委員長)

それではこれより次第3の協議事項に移ります。

第1号議案のうすき読書のまちづくりステーション設置規定の一部を改正する訓令の制定について、ご説明をお願いします。

(社会教育課長)

第1号議案のうすき読書のまちづくりステーション設置規定の一部を改正する訓令の制定についてご説明いたします。資料編の方をご覧ください。新旧対照表を掲載しています。色が付いているところが改正した部分です。第2条の「(1) うすき読書のまちづくりの啓発に関すること。(5) 各種講座の実施に関すること。(6) 読書活動ボランティアの育成や連携に関すること。(7) 臼杵市文化財資料のレファレンス業務に関すること。(10) 学校図書館専門員及び市立図書館司書のスキルアップに関する

ること。」の5項目が現行に追加した部分です。現行の「(4) 学校図書館の活用及び運営、資料収集等の環境整備の支援・相談に関すること。」の中の「支援・相談に関すること。」については削除しています。次のページの第3条の冒頭について「ステーションの長を図書館長とし」を追加しています。あと「(1) 市立図書館職員 (3) 社会教育課協育コーディネーター」を追加しています。第4条の「庶務を行う」の部分を削除しています。変更箇所は以上です。変更の理由ですが、第2次臼杵市子ども読書活動推進計画の策定に伴い改正する必要が生じたためです。

(委員長)

ご説明が終わりました。何かご質問がある方はいませんか。

(無しの声あり)

(委員長)

第1号議案については、承認するということでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

9. 学力向上について

(委員長)

それではこれより次第4の学力向上に移ります。

平成28年度土曜ふれあい学校の実施計画についてご説明をお願いします。

(学校教育課長)

ご説明いたします。お手元に配布しております「うすき土曜ふれあい学校実施要項(平成28年度版)」をご覧ください。昨年12月に土曜ふれあい学校の担当者会議を行いました。その中で今までの取り組みについての成果や、来年度の取り組みについて話し合いをしました。その結果を受けて、来年度に向けての実施要項を考えました。3番目の「平成28年度の実施方針」をご覧ください。一つ目は学校や地域の特性を活かした土曜ふれあい学校を実施することです。それぞれ学校や地域によって特色があると思います。例えば川登であれば二孝女や紙漉きなど、そいうったそれぞれの地域の特性を活かして、学校と地域と保護者が協力して土曜ふれあい学校を実施しようということです。そのためには学校だけでなく、地域振興協議会や社会教育課の協育コーディネーターなどの協力を得ながらやって行く必要があるかと思います。二つ目ですが「授業力向上の取組を積極的に発信するという意味から通常の授業を家庭・地域に公開する」というのを入れました。これは大体年3回程度を目安にして取り組んで行こうと考えています。もう一つの側面として毎回が行事となると学校の方も大変なので、行事をする時もあるし、授業を公開する時もあるということで、年間のスケジュールを組んでいきます。5番目の「土曜授業の実施日」ですが、原則は第1土曜日ということで今年度と変わりませんが、12月の会議の時に学校から出た意見で10月は小学校の運動会があり、中学校は開催しにくいということと、中学校の3月は卒業式になっているので、その後に小学校が実施するとなると学年末で、時間が取りにくいうことが出ました。それを受けて下の表にありますが、10月は小学校のみ実施して、3月は中学校のみ実施するということを考えました。小中学校ともに、年6回実施することとなります。2枚目をご覧ください。6番目の「授業時数」ですが、平日の3時間を土曜授業にということです。平日の授業を減じて教育活動にゆとりを持とうというのが狙いでありましたが、実施できていない学校もあるよう

に聞きましたので、確実に減じるよう再度徹底したいと思います。以上が大きく変わった点ですが、こういった方針で来年度やっていきたいと考えていますので、ご意見がありましたらお願ひいたします。

(委員長)

来年度の土曜ふれあい学校について説明が終わりました。

一部地域の方々から言われたのですが、保護者は学校だよりや学年通信などで日程を知ることができるのですが、地域にはそういうお知らせが無くて、参加したり見たりしたいのに行けないことが多いということです。音楽会の様子などを事後にケーブルテレビで見て、先に知っていたら見に行きたかったと思うこともあるというご意見でした。学校行事を何らかの形で地域とかお年寄りが事前に知ることが出来ますかと聞かれましたので、出来ますと答えておきましたのでぜひよろしくお願ひします。

他に学力向上について質疑やご意見がありますか。

(無しの声あり)

(委員長)

第44号議案については、承認するということでよろしいですか。

(異議なしの声あり)

10. 教育予算について

(委員長)

次に次第5の教育予算等についてですが、ご意見がありましたらお願ひします。

(無しの声あり)

11. その他

(委員長)

それではこれより次第6のその他についてです。

「海洋科学校の独立高等学校化」の要望についてご説明をお願いします。

(教育総務課総括課長代理)

先ほど教育長より少しお話がありましたように、海洋科学校についての大分県教育長あての要望書についてです。来月の24日に提出することになっています。教育委員会からは教育委員長と教育長が行くようになっております。内容についてですが、海洋科学校は大分県唯一の水産教育を担う高等学校であるので、独立の高等学校としていただきたいということと、必要な教員の配置及び施設整備に引き続きご配慮いただきたいということです。以上ご報告いたします。

(委員長)

この要望書の提出とか動きについては市民の方の賛同を得られると思うのですが。校舎は臼杵市にあってなぜ津久見高校なのかという声も聴いていますし、自分もそう思います。ぜひ一生懸命頑張って、実現できたらと思います。皆さんそれでどうでしょうか。

(異議なしの声)

(委員長)

それでは次に「第2次臼杵市子ども読書活動推進計画」及び「臼杵市スポーツ推進計画」のパブリックコメントの状況についてご説明をお願いします。

(社会教育課長)

社会教育課からご説明いたします。まずは「臼杵読書のまちづくり計画（案）」に対するご意見の一覧表です。これは昨年の12月26日から本日まで意見を募集しております。その結果1名の方から5件のご意見をいただきました。「臼杵市スポーツ推進計画（案）」に対するご意見も同期間で募集しておりまして、こちらは2名の方から2件のご意見をいただきました。それぞれに対して委員の皆様からも何かご意見があればよろしくお願ひいたします。このご意見については回答をホームページにアップしています。

(委員長)

この読書のまちづくりに関するご意見は1名の方からで、スポーツは2名の市民の方からいただいたものだそうです。皆さんからご意見がありましたら、後日でも良いということですでお願いいたします。他に何かありますか。

(学校教育課長)

先ほど教育長報告でも少しふれました、1月23日に行われた「第6回福祉と教育を考えるフォーラム in うすき」について報告いたします。教職員は研修の一環ということで参加していただきましたが、学校行事の準備や中体連の試合等もあり参加できない方もいましたが、約220名の参加があったようです。PTA関係が160名程度、保育所・連携協・自立支援協から60名程度、一般・民生委員等で90名程度の参加があり、総勢約540名の参加があったということで大変ありがたいと思います。

内容については教育長よりお話がありましたが、安東指導主事が特別支援連携協議会を代表して「一人ひとりの適切な就学支援に向けて」ということで、臼杵市の就学支援委員会の取り組みや、臼杵っこ支援ファイルについての取り組みなどの発表をしていただきました。自立支援協議会からは、特別な支援を必要とする子どもに対する障がい福祉サービスについてのご説明がありました。その後大分大学の衛藤准教授による「発達障害のある子どもへの支援」という講演がありました。今本当に学校で課題となっている発達障がいを抱える子ども達について、どういうふうに先生や保護者が接していくのかという説明もありました。衛藤先生につきましては、大分市などで学級崩壊等となっている困難校に入って指導されているという話も聞きましたので、ぜひ臼杵市でもこれをひとつきっかけにして、学校単位で研修なり指導なりしていただけたら良いなと思いました。天気も心配されましたが、多くの方に参加していただき、充実した会になったと思います。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育テレビを見ていた時にこんな発言がありました。「最近の福祉と教育というのは責任転嫁と頼りすぎという方向に行っているように懸念される。あくまでも福祉も教育も自立をさせるというところに向かって行かなければならない。個人差があるということを踏まえた上で、自立をさせるということがゴール地点でなければ、福祉も教育も意味が無い。」とおっしゃっていました。手を差し伸べすぎることが果たして良いのか。学校訪問のときなどに特別支援の先生がぴったりくっついていて、鉛筆が落ちただけでも拾ってあげたりするのを見かけると、それが特別支援の本当の姿なのだろうかと考えられ

れます。福祉と教育の本当に目指すところは何だろうということを皆がきちんとわかつて、手を差し伸べるべきところ、お金を出すべきところを考えてほしい。支援が過剰になり過ぎて逆に自立を遅らせるようなことがあれば、これは個人の尊厳に反することではないかと思います。現場の先生方は特別支援の先生を増やしてほしいと盛んにおっしゃるのですが、そのことに少し疑問を感じこともあります。

(委員長)

他にご意見等はありませんか。無ければ以上で、平成28年1月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
